

■効果の見えるダム事業

徳島県 正木ダム堰堤改良事業

徳島県県土整備部 流域整備企画課長 なかせ たかいち 中瀬 敬一



● 正木ダムの概要

- ①目的 洪水調節、かんがい用水、工業用水、発電
- ②経過 昭和48年3月着工、昭和52年8月竣工
- ③位置 勝浦郡上勝町正木
- ④河川名 2級河川 勝浦川水系 勝浦川
- ⑤諸元 重力式コンクリートダム
堤高:67.0m 堤体積:248,800m³
総貯水容量:15,050 千m³
集水面積:94.7km²



正木ダム

● 事業の必要性・効果

正木ダムは、近年、異常気象により、放流操作回数が極端に多い年が頻発しています。

放流操作時に必要な情報処理装置(ダムコン)や放流警報設備(テレメータ)は、定期点検・整備を実施していますが、更新後、10年以上(16~18年)経過しており、交換部品は、製造が中止された上に、在庫期限も過ぎていることから、入手が困難となってきている状態です。

情報処理装置の異常停止は、再起動に 응답しない可能性もあるため、万一放流中に発生すると、ダム情報処理及びゲート操作機能が全停止し、的確なダム操作ができなくなるだけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。

そのため、堰堤改良事業により各設備を改良・機能アップし、放流操作・情報伝達の確実性、信頼性を向上させ、ダムの効果による安全・安心を確保するものである。

● 事業の内容

- 全体事業費 890 百万円
- 事業期間 平成20年度～平成24年度
- 工事概要 ダム情報処理設備更新
テレメータ・放流警報設備改良
主ゲート放流設備改良
貯水池付属設備改良

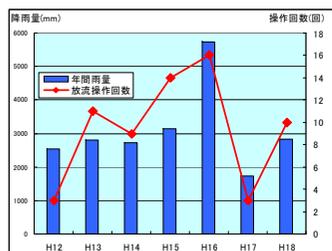
ダム情報処理設備



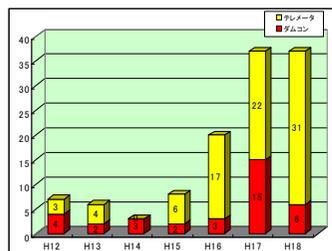
放流警報設備



降雨量と放流操作回数



正木ダム管理設備障害発生件数



四国で一番人口の少ない元気な町

上勝町長 かさまつ かずいち 笠松 和市



上勝町は、徳島県の南東中央部、勝浦川の源流にあり、面積 109km²、人口約 2,000 人、高齢化比率約 49%、86%が森林で、わずか 1.2%の土地に急峻な田畑樹園地、標高 100~700mの間に 55 の集落があります。

上勝町には県営正木ダムがあり、発電、洪水調節、農業用水に効果を発揮し地域に開かれたダムとして憩いの場所になっており、地域の活性化施設としても春は桜、夏は釣り等大変賑わっております。

また、標高 650mには全国棚田 100 選の檜原棚田があり、棚田オーナー制度を活用し地域の活性化を図っているところです。美しい棚田や森林は豊かな水源と生物を育む美しい川の源であり、「高丸山千年の森」での県民参加の森づくりとして、ブナの原生林で森林浴を楽しみ、山林管理で汗を流し、森林の公益機能などを体験学ぶことができます。

本町の森林は人工林が 83%を占めていますが、木材不況による管理不足で土砂流出が進みつつあり、農地にはシカやイノシシが出没し農作物に大きな被害がでています。

食料や木材は外国から輸入できますが、保水力、景観、大気浄化機能などの環境資源は輸入できないことから森林農地管理士の育成に努めています。

また、2020年目標にゴミ0(ゼロ・ウェイスト)宣言(現在ゴミのリサイクル80%)や、「日本で最も美しい村連合」にも加入し環境倫理に基づく「持続可能な地域社会づくり」をめざし町民参加のまちづくりを進めています。

柿やモミジ、ナンテンなどの葉っぱを料理のつま物として出荷する「彩り農業」で高齢者の生き甲斐と健康づくりにも役立ち、環境への取り組みとして月ヶ谷温泉の重油ボイラーを木質バイオボイラーに変えるなど、年間多くの視察者が訪れる四国で一番人口の少ない元気な町です。



檜原の棚田



高丸山原生林